



市議会議員
上田由美子
☎ 68-2106
Fax 68-2146



参議院議員
井上さとし



前衆院議員
藤野保史

公共施設使用料

3年ごと引き上げる制度 新設へ

小矢部市の公共施設使用料を見直すことが提案されます。3月議会で津沢コミュニティプラザ等9施設の使用料について条例改正が提案され、6月議会でクロスランドおやべ等11施設の利用料金が見直されます（今回対象となる各施設は別表の通り）。

市民は物価高騰で困っている

食品や光熱費など物価が大幅に上がり、市民の生活は非常に苦しい状態にあります。そのもとで公共施設の使用料を引上げれば、生活防衛のため、利用回数を減らざるを得ない人が出てきます。

いま、なぜいっせいで引上げなのか!?

基本方針では、「受益者負担の適正化」のため3年おきに使用料を見直すとしています。しかし、今なげ引上げをするのか、しかも各施設使用料をいっせいで見直す必要になったのはなぜか、あきらまかではありませぬ。小矢部市はこれまでずっと、ほほいまの使用料・利用料で自治体運営をしてきていたのに、どんな不都合があったのでしょうか。



使用料施設(市の収入になる)	使用料見直し時期	条例改定時期		
津沢コミュニティプラザ	2023年10月1日	2023年3月議会		
市民体育館				
市民プール				
北盤谷スポーツセンター				
菟波スポーツセンター				
水島スポーツセンター				
商業インキュベーター				
農村環境改善センター	2024年4月1日	2023年6月議会		
稲葉山牧野				
利用料施設(指定管理者の収入になる)			使用料見直し時期	条例改定時期
クロスランドおやべ			2024年4月1日	2023年6月議会
アートハウスおやべ				
文化スポーツセンター				
夜間照明施設				
運動公園(陸上競技場、野球場、庭球場)				
ホッケー場、野外運動広場				
屋内スポーツセンター				
武道館				
サイクリングターミナル				
道の駅				
高齢者健康交流センターつぎわランド				

旧正得保育所解体に3430万円

2023年度小矢部市予算案には、旧正得保育所の除去事業費として、実施設計130万円、解体工事3,300万円、合計3,430万円が計上されています。

地元が求める要望は

正得自治振興会では、解体後の跡地を舗装し、駐車場として使用することを市に要望しています。この駐車場は、地震等の災害時にはテント等を設置して避難所として利用する計画です。

また、正得地区の災害避難所は収容人数70人の正得公民館のみであり、地区住民1,400人にとって、圧倒的に少ない状態です。そのため、軽スポーツ施設を建設し、災害時には追加避難所として使えるようにすることも市に要望しています。

公共施設は住民福祉を目的に

地方公共団体は、住民の福祉を増進する目的で住民が使用する施設（公の施設）を設けるとし、不当な差別的取り扱いをしてはならないとしています（地方自治法第244条）。

生活が苦しい人が、生活苦で公共施設の利用を諦めざるを得ないようなことは避けねばなりません。

福祉増進にどう役立てるのが問われる

受益者負担の口実で、住民福祉増進という本来の公共施設のあり方が歪められないでしょうか。市民と行政との協働で、まちづくりを推進する「おやべ型1%まちづくり事業」の精神にも逆行するのではないのでしょうか。いろいろな人が平等に利用し、交流の場や健康増進の場として、大勢の市民が利用しやすくするために、使用料の引上げをやめさせる声を広げていきましょう。

市の見直し方針の概略

市は使用料の算定基礎を次の数式で算定するとしています。

$$\text{使用料} = \text{料金原価} \times \text{受益者負担率}$$

$$\times \text{利用実態に応じた補正率(稼働率)}$$

料金原価の算定基礎は、施設の維持管理や運営に係る職員の人件費と維持管理費です。維持管理費には、臨時職員の賃金、光熱費、修繕料、委託料、賃料、備品購入費などが含まれます。受益者負担率は、①市民が日常生活を営む上での必要性と、②民間による提供可能性により、0%～100%に定めたものです。また、利用実態に応じた補正率を使うことにより、使用が少ない場合は料金が上がり、使用が多い場合は料金が下がることがあります。

市もかなりの引上げと想定

激変緩和で1.5倍におさへ

それでも3年ごとに見直し

市もこれで算定すれば相当な引上げになるとみているようで、激変緩和措置として、「現行料金の1.5倍」を上限とするとしています。しかし3年に1回の見直しで3年ごとに引上げがづく恐れがあります。

旧JA正得支店を活用させてもらうことも一つの案です。住民から「正得公民館は平屋であるため、洪水が起きたときは避難所として不十分だ。二階以上の建物が必要だ。」という要望がありました。地震や洪水など様々な災害への準備が求められます。